

# 橋に願いを



①日銀側から見た常盤橋。奥の石垣は、門の撤去後もそのままの形で残る②常盤橋公園で花植えをする岡田邦男さん(右)ら。20人ほどで400株のナデシコを植えた=いずれも上田颯人撮影

■日本橋川 雉子(きじ)橋や一ツ橋など江戸の歴史をしのばせる橋が数多く架かり、川岸の一部には江戸城外堀の石垣が残る。来年で架橋100年の日本橋は、観光船着き場が来春完成予定。

■常盤橋防災船着場 二段構造の棧橋で、普段は地域活性団体などの舟巡りツアーが発着する。江戸東京再発見コンソーシアム主催の「お江戸日本橋舟めぐり」は2500円、4~12歳1500円。日程は<http://www.edo-tokyo.info>で確認を。☎03・3668・0700(平日9時~15時)。

■常盤橋フォーラム 定期的な清掃活動や季節のイベントなどを開催。常盤橋公園の次回の花植えは11月下旬ごろ開催予定。問い合わせは大丸有エリアマネジメント協会(☎03・3287・5386、<http://www.ligare.jp>)。



9月下旬のある日、ボランティアたちが公園で花を植えた。昼休みに来た会社員の若い女性が、自分が植えたナデシコをうれしそうに写真に収めていた。常盤橋の方も修復や架け替えの検討が始まった。街を愛する人たちの思いが、一度は忘れかけられた場所に少しずつ小さな花を咲かせている。(伊東絵美)

## 常盤橋(東京都)

### 江戸城の要所、再び表舞台に

「お江戸日本橋」でかつては物資輸送の主役だった日本橋川。今は高速道路がそっくり上空を覆っている。川も、そこに架かる橋も日陰の身。そんな日本橋川を五街道の起点・日本橋から上流にたると、日銀本店正面に常盤橋が見えてくる。

江戸城外郭正門だった常盤橋門を取り壊した石材で、明治の初めに架け替えられた。日銀対岸の常盤橋公園には枳形門の石垣の一部が残っているが、由緒正しい橋も、やはり影が薄い。



千代田区で不動産業を営む岡田邦男さん(60)は数年前、散歩をしていて常盤橋に出合った。江戸城ゆかりの橋や石垣は歴史好きの心をとらえたが、公園には人が住み着き、公衆トイレ前はゴミの山。「石垣なんてロッ

〈メモ〉長さ32.3m・幅初代は1590年の架橋といわれる。江戸時代初期に常盤橋門ができ、1877年に現在の石造りの橋になった。その際「割れやすい皿ではなく石に」と漢字表記が「盤」から「磐」に変わった。常盤橋門跡は国の史跡に指定。

ククライミングしている人がいたんですから」。岡田さんは公園の再生に向けて動き出す。区の職員らと数人で清掃することから始めた活動は、輪が少しずつ広がっていった。2007年には、歴史ある常盤橋を象

徴に「帯を地域交流の場にしよう」と、日本橋川両岸の千代田・中央区や街づくりのNPOなどからなる「常盤橋フォーラム」が誕生。この夏開いた納涼祭には厚台やバンドが登場し、ライトアップした風情ある石垣と緑に包まれた公園は、都心の夕涼みスポットになった。同じ日、橋の下にある船着き場から、都内の夜景や名橋を巡る舟が発着した。フォーラムと連携したNPO「水都東京を創る会」が仕掛けた。理事長の上林武人さん(66)は「川は街の個性を象徴する存在なんです」と話す。一度暗渠化した川に清流をよみがえらせ高速道路を撤去した例が韓国・ソウルにある。上林さんは、水辺が憩いの場となることを願っている。